

2021年12月24日

中部圏No.1のニンジン産地 碧南市のブランドニンジン

『へきなん美人』収穫最盛期！

【1月中旬／収穫風景と選果・選別・箱詰め作業を紹介します】

J Aあいち中央碧南人参部会（部会長：杉浦千秋）が栽培する碧南市のブランドニンジン「へきなん美人」が、1月～2月にかけて収穫最盛期を迎えます。碧南市は中部圏No.1のニンジン産地。収穫は11月中旬から始まっていますが、この時期が一年で一番甘くなります。これは、ニンジンの防御機能が働き、気温が下がっても凍ってしまわないように、糖分を蓄えるためと言われています。

2021年作は、生育も順調に進んでおり、品質も良好。例年並みの出荷となっています。「へきなん美人」ブランドの名



収穫機で畝ごとに収穫される「へきなん美人」

美しく、そして甘い「へきなん美人」

「へきなん美人」の特長は、鮮やかな紅色と強い甘さ。ニンジン独特の臭みが少ないので、子どもやニンジンが苦手な方でも食べやすいと好評です。

《色・味、それぞれのポイント》

鮮やかな紅色を出すには、根（食べる部分）が伸びる秋ごろに温度が下がりすぎないことが重要。この地域では、約30cmの高い畝を立て、陽が当たる面積を増やすことで地面を温める工夫（これを行っている産地は珍しい）をしています。

甘みのポイントは①品種と②碧南の土質。「あいちの伝統野菜」の碧南鮮紅五寸をもとにしたオリジナル品種で、甘みの強い品種です。この種は部会員のみが使える門外不出のものです。また、碧南市はニンジンに最適な水はけの良い土質で、碧南で育てると、「どんなニンジンでも甘くなる」と種苗関係者の間で評判です。

J Aあいち中央碧南人参部会

■部 会 員：121人 ■栽培面積：約124ヘクタール

■出荷時期：11月中旬～3月下旬

（「へきなん美人」は2月下旬まで）

■総出荷量：約9,000トンを計画

■販 路：中京地方の市場を中心に、北陸・関西方面へ出荷



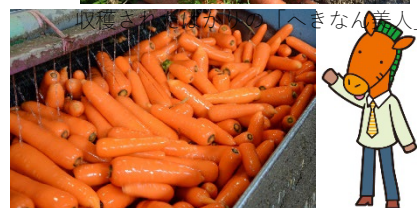
＜メディア対応日＞

■日時：2022年1月中旬

■場所：J A碧南みなみ支店集合（碧南市塩浜町7-115）

※当日は、畑での収穫風景と施設で洗浄・選果・箱詰め作業などが撮影できます。

※対応日前後の天候等で、日時を変更する場合があります。



（お問い合わせ先）※取材にお越しいただく際には、事前に「へきなん美人」の収穫風景と施設で洗浄・選果・箱詰め作業などが撮影できます。

J Aあいち中央総合企画部企画課（広報担当：高瀬、杉浦、山村）

TEL:0566-73-5504／携帯:080-3667-3853／E-mail:kouhou@jaac.or.jp